

みんなで考える「私たちの新しい図書館」 ～子どもから大人まで幅広い年代ですすめる図書館づくり～

鳥取県 智頭町立智頭図書館

基本データ

所在地	鳥取県八頭郡智頭町 大字智頭 2076 番地 2
職員数	6 人
うち司書数	4 人
蔵書数	55,322 冊
利用登録者数	4,226 人
年間貸出冊数	55,512 冊
	(児童用図書貸出数 26,816 冊)

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】連携

【活動のねらい】

- 2020 年度開館予定の新図書館は、「多くの人たちがであい、つながり、まなびあう図書館」でありたいというコンセプトを掲げている。
- 子どもから大人までが一緒になって語り合い、どのように新図書館を利用するのかを描き、私たちの図書館として関わり続けていくための可能性を探る。

取組・活動の概要

(1) 住民ワークショップの開催

- 第1回(2017年8月)から第7回(2019年9月)の住民ワークショップには小学生から90代までの幅広い年代の参加があり、話し合いの中で出た思いを新図書館整備基本構想、基本計画、設計につなげてきた。



新図書館設計(案)を見てグループごとに話し合い

(2) パブリックコメントの実施

- 新図書館について広く意見を募集し、基本構想に141件、基本計画に38件の提出があった。

(3) 新図書館愛称募集、決定

- 図書館だけでなく、小中学校図書館でも愛称募集、決定投票を実施した。募集には185作品(小中学生103作品)、決定には623票(小中学校417票)の投票があった。

(4) 智頭中学生の新図書館プロジェクト事業

- 「こんな図書館があったらいいな」のテーマで新図書館について話し合い、住民ワークショップで報告。新図書館開館を盛り上げるため、百人委員会(住民が町の事業を提案)で開館記念

しおり作成を提案し、予算通過後は、町特産の藍染めひも付きしおりを作成した。



町執行部に事業説明する中学生

取組・活動の工夫や特徴

- 日常的に学校図書館を中心とした連携を図ってきたことにより、子どもたちが積極的に図書館づくりへ参加する姿が見られた。
- 県立図書館、外部アドバイザーと連携し、住民ワークショップへの参加や図書館づくりに対する助言をもらうなど情報共有を行っている。

取組・活動の成果や今後の展望

- 第7回までの住民ワークショップでは、延べ521人が思いを伝え合い、中学生はすべての回に延べ80人の参加があった。
- 中学生から「町のことは大人だけで考えるのではなく、自分たちも参加していると実感できた。町への愛着がわいた。」と感想があった。
- 今後、住民がさらに図書館に親しみ、集い、つながり、学びあう場となるように、ともに図書館づくりを進めていきたい。